

KUMAMOTO

GREEN Rotary-Club

The Weekly Bulletin

Kumamoto green rotary-club district 2720 rotary international

2019~
2020年度
テーマ

国際ロータリー 「ロータリーは世界をつなぐ」 R.I. 会長 マーク・ダニエル・マローニー

地区方針 「さあ、ロータリーの大海へ漕ぎ出そう」

R.I. 2720 地区 ガバナー 瀧 満

熊本グリーンRC 「さあ、令和の大海へ漕ぎ出そう・新たな時代に」

熊本グリーンRC 会長 山下佳介



■例会日：毎週月曜日 18:30~19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：山下佳介 ■幹事：本田悟士 ■会報担当：栗山義則
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー
第2720地区

熊本グリーンロータリークラブ週報

第1372回

令和2年2月10日

2019-2020年度 第24回

【例会】

1. 閉会・点鐘 18:30

「奉仕の理想」(ロータリーソング)

2. 食事と交歓

来訪者紹介 (山下佳介 会長)

- ・卓話者:ヒューマンキャンパス高等学校 教諭 中熊 和典氏
- ・米山奨学生 シャルマ・ゴパル君

友情の握手

会長スピーチ (山下佳介 会長)

本日卓話を頂くヒューマンキャンパス高等学校教諭・中熊和典さま宜しくお願ひ致します。「不登校の現実と通信制高校について」との事で高校生の娘を持つ親としてとても興味があります。

さて今日は PayPay について代理店の方から詳しく話を聞きとても参考になったのでご紹介したいと思います。

PayPay とはキャッシュレスのシステムで携帯電話にアプリをダウンロードすれば直ぐに使用可能な機能です。お金の入金方法は銀行口座から出来ませんが熊本は郵貯と熊銀だけなのでコンビニでもチャージ出来ます。コンビニの機械に携帯をかざして入金するだけです。入金の上限は24時間以内は50万円まで、30

日以内は200万円までとなっているので結構高価なものまで購入する事が出来ます。PayPay の魅力は現金が要らない事はもちろんですが今はポイント還元 キャンペーンがあることをです。現在はだいたい5%還元される事が殆どですが今年の6月くらいからは2万円チャージするとなんと5000円のキャッシュバックが始まるそうです。2万円の物が15000円で買えることになります。

そうすると一気に利用者が増えると思います。当然国がキャッシュレスを推奨する為に予算化してお金を出すそうです。現在でも2300万人の利用者がいて買えるお店が185万か所あるそうです。我がクラブにも加盟店とし登録可能な方々が沢山いらっしゃいますので是非加盟店登録とユーザー登録をお勧めします。加盟店登録はとても簡単で申請してQRコードをお店に置くだけで何の端末もいらず初期費用も掛かりません。今からは間違いなくキャッシュレスの時代になりますので皆様も早く時代の流れに乗りましょう。

幹事報告 (本田 悟士 幹事)

■報告事項(その他のロータリー関係)

12020~2021年度 地区研修・協議会 開催のご案内

1) 開催日:2020年4月5日(日)

登録開始:9:00~/協議会 10:00~16:00

2)会 場: 熊本城ホール

3)ホストクラブ:熊本江南 RC 並び熊本第四グループ各クラブ →2Pに続く

卓話予定

- 2/17 米山奨学生 シャルマ・ゴパル君
- 2/24 祝日休会 (天皇誕生日の振替休日の為)
- 3/2 「熊本グリーンRC創立31周年記念例会」
★ネパール親善旅行報告例会
- 3/9 「第4回クラブ協議会」

【熊本グリーンRC ホームページアドレス】 <http://www.kg-rc.com/>

- 4)登録料:5,000円/1名(クラブで負担致します。)
 5)出席義務者:次期会長、幹事、クラブ管理運営委員長、公共イメージ委員長、会員増強委員長、奉仕プロジェクト委員長、職業奉仕担当長、社会奉仕担当長、国際奉仕担当長、青少年奉仕委員長、アクト担当長、ロータリー財団委員長、米山担当長

■その他

「抜粋のつづり その七十九」の寄贈のお知らせ
 本日、例会場受付にて配布致しました「抜粋のつづり」はクマヒラ金庫の創業者より親子3代にわたり、全国のロータリアンのもとより、110ヶ国の日本大使館や各種団体、企業に毎年45万部ほどを無料配布されています。ここ1年間の新聞、雑誌、書籍などから、心に響くエッセイ、コラムを36編を抜粋しまとめておられます。朝の朝礼や挨拶等に引用されても良いかと思われまますのでご一読下さい。

【例会変更・取り止め】

<例会変更>

【熊本東 RC】

2月25日(火)の例会は、新入会員歓迎例会のため、同日19:00より、松屋旅館にて行います。

出席報告

(長野 義文クラブ管理運営委員(出席担当長))

	会員総数	24名	出席率
2月10日	出席免除会員数	2名	72.73%
	計算上会員数	22名	
	出席会員数	16名	
1月27日	前回の出席会員数	11名	68.18%
	メイクアップ数	4名	
	修正出席会員数	15名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
<ul style="list-style-type: none"> ・1/29 熊本東南RC 河島 君、荒木 君 ・2/5 熊本グリーンローターアクト 河野 君 ・2/8 熊本江南RC50周年式典 松村 君 			

委員会報告

■「地区研修・協議会の御案内」

報告者: 河野景治次期幹事

日時は本日の幹事報告を参照して下さい。次年度の委員長様担当長様は出席をお願い致します。

■創立30周年記念誌について

報告者: 河島一夫創立30周年実行委員長
 松本宏初代会長に創立30周年記念誌をお送りしたところ、丁寧なお礼状が来ておりますので紹介させていただきます。(3頁掲載)

スマイル

(田中 慎二クラブ管理運営委員(スマイル担当長))

●山下 佳介 君、本田 悟士 君

「最近、冬らしく冷え込んで参りましたが、体調崩されていませんか?新型コロナの流行もあって咳やくしゃみをすると同室者から冷たい眼で見られる今日この頃ですが、栄養と睡眠をしっかりとって手洗いうがいを励行する。当たり前のことを着実にこなして元気にこの冬を乗り切りましょう。中熊和典先生、本日は卓話頂きますこと心より感謝しております。どうか宜しくお願いします。」

●河野 景治 君

「3週間ぶりの例会出席です。メイクアップは行っておりました。本日は中熊様のご来訪、卓話に感謝のスマイル申し上げます。」

●福島 和見 君、大友 利行 君、荒木 一之 君、田中 慎二 君

「本日の卓話、中熊様楽しみです。宜しくお願い致します。」

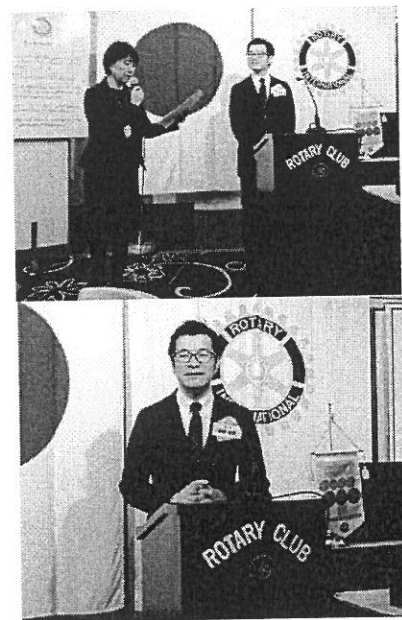
3. 例会プログラム

司会:(紹介者): 福島 和見会員

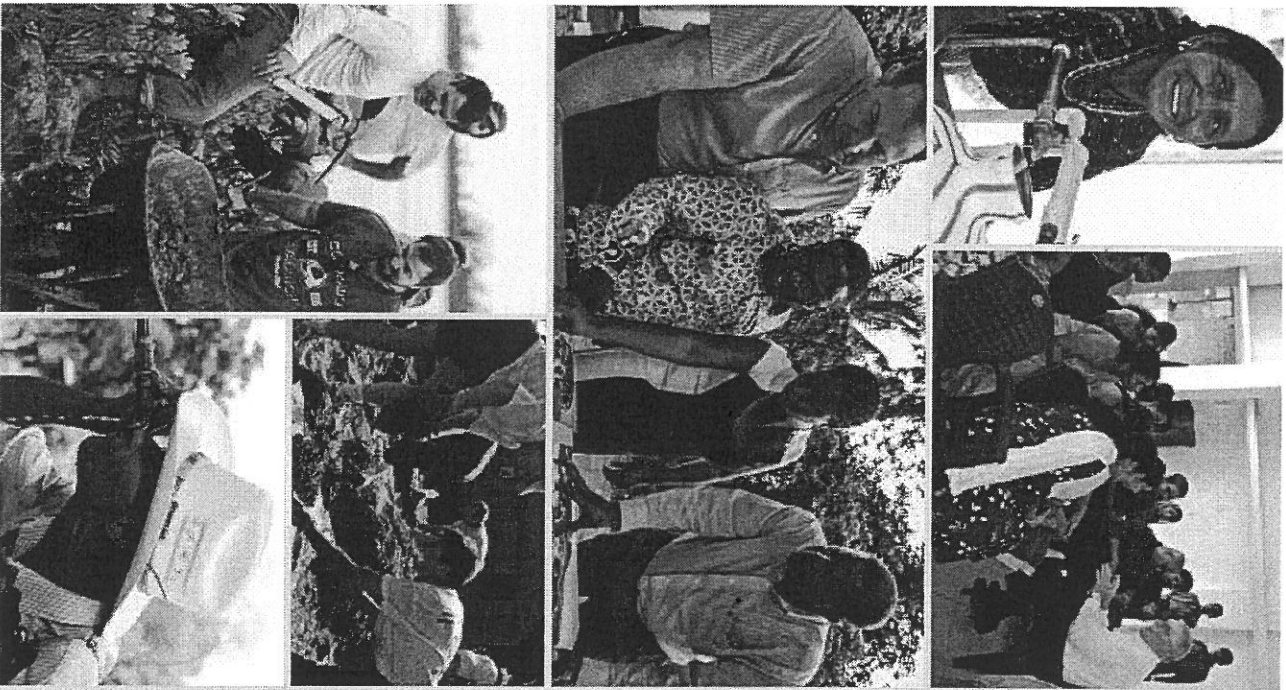
卓話者 ヒューマンキャンパス高等学校

教諭 中熊 和典 氏

演題 「不登校の現実と通信制高校について」



4. 閉会・点鐘



私たちの財団

未永い変化を生み出すために 専門家グループが支援

専門家グループがプロジェクトの インパクトを高めます

インドのあるロータリークラブは、グローバル補助金の申請に関して助言を必要としていました。そこでクラブは、ロータリー財団の専門家グループのメンバーである医師、インドウデテナ・コピナサンさんに専門的な支援を求めました。

このクラブは、インドの地方にある小さな病院のがんセンターのために、がん細胞を殺し腫瘍を縮小する小線源治療の機器を購入しようとして、275,000ドルの資金を申請していました。地域社会の調査も完了し、プロジェクトがもたらす恩恵は明確に約束されています。しかし、核医学に携わる医師の離職率は高く、病院は遠隔地にあります。これでは機器を操作し管理する専門家をクラブが送り続けるのが難しくなるとコピナサン医師は懸念しました。

そこで、病理学者として医療の指導も行うコピナサン医師は、自身の人脈を使って地域調査を行い、車で4時間の場所にある大きな病院をクラブに紹介しました。この病院は、核医学の分野で3年間の大学院課程を提供する大学と提携しています。そしてこの大学が、大学院課程の一つをがんセンターで行い、学生が新しい小線源治療機器を管理することになったのです。

持続可能かつ測定可能で、確実な地域社会調査に基づいた補助金プロジェクトを通じて、ロータリーは地域社会と世界で未永く続く変化を生み出しています。

コピナサン医師のような専門家700人から成る専門家グループは、70カ国以上で、より大きなインパクトをもたらすプロジェクトをクラブと地区が計画するのを積極的に支援しています。

専門家グループのメンバーは、その豊かな知識を活用して、以下の事例を支援します。

- 地域社会調査
- プロジェクトに持続可能性の要素を統合
- プロジェクトのモニタリングと評価の計画
- 各重点分野の補助金申請要件に関する質問

インド、マハラシュトラ州のボムベイ・チェンバー・ウエスト・ロータリークラブの会員であるコピナサン医師は、専門家グループとして、これまで15のプロジェクトを視察してきました。その中でも、僻地で乳がん検査を行う移動式マンモグラフィー装置のために補助金を申請したプロジェクトについては、今もよく覚えています。地区の申請書には、実施地のクラブが明記されていませんでした。これでは、誰がプロジェクトを継続していくのかが懸念材料となります。

そこでコピナサン医師は、自身の人脈を活用して提携する病院の管理者と放射線科に連絡を取りました。この病院と契約を結んで、病院側が研修プログラムを導入し、マンモグラフィー装置付きの小型トラックを使って検査を行うシステムを派遣することになりました。また、地区がバナーと次期リーダーは、がん検診を最優先事項とし、プロジェクトへの参加をクラブに求めました。

ご存知でしたか？

専門家グループのメンバーは、MY ROTARYのレポートから、地区別、国別、言語別、専門分野別に検索できます。クラブを支援できるメンバーを見つけるには、「専門家グループメンバー情報レポート」の利用方法をご覧ください。

詳細は cadre@rotary.org までお問い合わせください。

●松本 宏初代会長より「創立30周年記念誌」送付の御礼

本日、創立30周年記念誌を拝受致し厚く御礼申し上げます。早速DVDを家内共々全てが懐かしく涙して拝見することでした。30年の歴史の一頁一頁を築かれた多くの方々の熱意と努力が漲っている思いが致しました。

記念式典の画面では、自分もそこに参加している錯覚に落ち入りました。これだけの会を企画立案し、実行し又その成果を記録し編集されたことは大変なご苦勞があったことと拝察致します。

思い返せば昨年1月4日、突如脳梗塞を患い、日赤に一週間程入院し、河島様より再三ご案内受けながら不安と焦燥感から失礼致しました。

お陰様で幸いにも顕著な後遺症も無く、今は血圧もコレステロールも安定しており、今としては出席出来なかったことを後悔することです。それにも拘わらず記念誌に掲載し御送付賜ったこと深く深く感謝いたしております。

グリーンRCの歩みにはDVDで十時会員のご挨拶にもありましたが、三浦洋一特別代表の強い思いと御熱意は忘れることが出来ません。先生の御尊父様が戦後の廃墟と混乱の中理想に燃えて熊本RCを立ち上げられ初代会長を務められた三浦豊氏であることを考えますと我がグリーンRCには熊本RC発足の心髄が脈々と継がれていると考えて良いかと思われず。

大久保様の記念講演にも深い感銘を受けました。また測量界の先達の池部長十郎に光をあてられたこと嬉しく思います。流石河島会員ならでのことです。

祝賀会の椿姫、乾杯の歌での乾杯は良かったですね。素晴らしい30周年の記念式典であり祝賀会であったと思います。

不惑に向けて更なる熊本グリーンRCの益々の発展とご活躍を祈念致します。ありがとうございました。

令和2年2月1日

松本 宏

熊本グリーンRC

会長 山下 佳介 様

委員長 河島 一夫 様